

## 評価項目及び評価の視点

評価項目		主な評価の視点
1 企画力	業務理解度	本業務の実施方針(目的・内容)を理解した上で提案されているか。
	障害の理解促進	障害のある人と障害のない人の交流を通じて相互の理解を深めることができる提案となっているか。
	企画内容	実行委員会の設置やイベントの企画調整について、具体的な提案がなされているか。
	実行性	障害の有無にかかわらず誰もが広く参加し、参加者同士が協力しながら主体的に企画運営できるよう、具体的な提案がなされているか。
2 運営	イベント広報	情報発信の方法について、効果的な提案がなされているか。
	安全管理	会場全体のレイアウトが工夫され、危機管理・安全対策が適切に検討されているか。
	実施体制	業務を遂行するために必要な人員が確保され、適切な役割分担ができていないか。
3 実現性	経費の妥当性	実施経費が企画提案内容に沿った適正な見積もりとなっているか。
	実施スケジュール	円滑かつ適切に実施できる具体的なスケジュールとなっているか。
4 業務実績	業務実績	過去5年間において、当該案件と同程度の規模のイベント企画運営業務の実績を有しているか。

平成26年3月26日発出尼契第9320号尼行改第3950号「プロポーザル方式(所管課契約及び指定管理公募選定)における地域経済活性化のための取組について(通知)」に基づき、最低基準点を超えた事業者について、以下の加算を行う。

- ・市内事業者は10%加算
- ・準市内事業者は5%加算
- ・事業実施に際して、新たに市内事業者の雇用を行う提案があれば5%加算